

あだち 教育だより

No.56

発行日 ■平成 25 年 7 月 16 日
発行 ■足立区教育委員会
編集 ■教育政策課

私のクッキー「見て見て」

みんなで皮むき

はじめてのピーラーにドキドキ



食の体験で 生きる力を育てます!

も り も り 給 食 ウ ィ ー ク

食育に力を入れている区立認定こども園・保育園は、6月10日～14日に『もりもり給食ウィーク』としてさまざまな食の体験に取り組みました。

子どもは食事づくりに関わると、「食べたい」という気持ちが高まり、みんなで一緒に食べることで、人に対する愛情や信頼感が育ちます。

給食を通じた食育では、食べることはもちろん野菜の皮むきやクッキーづくりなどで、子どもの五感を刺激し『食』の大切さを伝えています。

日々の『食』に親しむ体験が、『健康・命・人間関係・文化』への関心を広げ、豊かな人間性と生きる力を育みます。



糸を使って流しそうめんごっこ



お庭で遠足気分



クワを持つ手もたくましく

●ごぼうを洗おう 上沼田保育園
「ぼくのが一番白いよ」「土のおいがする！」



土のついたごぼうを見る機会の少ない子どもたちは、ひげ根を観察したり、丸々一本のごぼうをぶら下げて持ってみたり、とても興味津々。

野菜の下処理から関わることで、野菜に興味をもち、料理作りへの関心も高まります。

で食育

あり、心と体の発達に密接に関係しています。体験を積み重ねることにより、生涯にわたって健全『食を営む力』が培われます。生活の中でもできるいろいろな体験を取り入れています。

がど!

●調理室をのぞいてみよう 第二日ノ出町保育園
「いいにおい…今日の給食は何だろう？」



きく!



廊下の窓から調理室をのぞくと、『トントントン』『ジュー』と野菜を切る音や炒める音、だしのおいを、耳、鼻、目、からだ全体で感じます。給食のメニューを想像し、調理スタッフの姿に興味をもつことが、食べる意欲につながります。

あじわう!

つくってみよう!
保育園のおやつ



キャロットケーキ

苦手な野菜もおいしく食べられるおやつを紹介します。
ご家庭でお子さんと一緒につくってみませんか?

材料(5個分)	小麦粉	100g	バター	30g
	ベーキングパウダー	2.5g	にんじん	小1本(65g)
	卵	1個	レモン汁	小さじ1
	砂糖	40g		

- 作り方
- ①にんじんを茹でて、ミキサーなどでペースト状にする。
 - ②小麦粉、ベーキングパウダーをあわせてふるう。
 - ③常温に戻したバターを練り、クリーム状になったら砂糖を加え、白っぽくなるまで、すり混ぜる。
 - ④③に卵と①のにんじん、レモン汁を加えて混ぜ合わせる。
 - ⑤④に②をふり入れ、さっくりと混ぜ合わせ、170℃のオーブンで20～25分焼く。

* 1個分のエネルギー 172kcal

●グリンピースのさやむき 中央本町保育園

「結構かたいよ！」「小さい赤ちゃんの豆もいる！」



子どもたちはグリンピースに触れ、それぞれに感想を口にしながら、にぎやかにさやむきをしました。むいたさやを「お土産にする」と大切そうに持ち帰る子どもも多く、家庭での会話のきっかけになります。

おやつは自分でむいたグリンピースごはんのおにぎり。普段はグリンピースが苦手な子ども、この日はみんな楽しく味わいました。

ふれる!

五感

食べることは生きることの源で乳幼児期から、年齢に合った食の康で豊かな生活を送るために必要
保育園だけでなく、家庭の日常
ことを意識し、『食育』に取り組ん

みる!



●お弁当作り(時計ごはん) 花畑桑袋保育園

「今日、起きた時間だよ！」「わたしは生まれた時間なの！」

みんなで協力して、しゃもじやトングを上手に使い、給食をお弁当箱に詰めました。

いんげんを時計の針に見立て、自分だけの時を刻んだ“時計ごはん”弁当の完成!

自分の食べられる量を知るだけでなく、数字、時間へと関心が広がると同時に、自分の思いを表現する力がつくなど、ひとつの経験がさまざまな大きな効果を生みます。



花畑桑袋保育園 日永田栄養士

お弁当づくりでは、うまく出来ないお友達に作り方を教えたり、みんなで協力して作業に取り組むなど、助け合い、思いやりの気持ちが芽生えました。

料理をつくることの大変さを経験し、家族や調理スタッフなど、作る人への感謝の気持ちも生まれました。



●うきうきレストラン

第二日ノ出町保育園

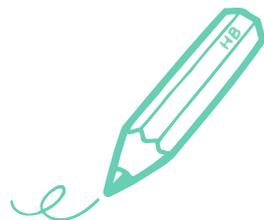
「今日の給食はいつもよりおいしい！」

ホールをレストランに改造!
雰囲気を変えると、いつもの給食も一段とおいしく感じます。

また、友達と楽しく会話をしながら食べることで、食事のマナーも身につく、「みんなが食べているから、苦手なものも食べてみよう」という気持ちもわき、「食事が楽しい」と感じる心が育ちます。



伸ばそう!学力!



独自の学力向上策

弘道第一小学校では、朝学習の時間に『計算さかのぼりプリント』に取り組み、基礎・基本の定着をめざしています。この取り組みでは、教員が授業をしている間に、丸付けボランティアの保護者の方々が採点しています。そのため、その日のうちに児童へ採点されたノートが戻るので、つまずきに気づきやすくなります。このような取り組みは個に応じた指導の充実を図ることができ、各学校へ広まりつつあります。



▲朝学習の様子 (弘道第一小学校)



▲丸付けボランティア (弘道第一小学校)

ほかにもこんな取り組みが!!

- パソコンを活用した学習
参加児童それぞれのレベルに応じた問題が出題されるパソコンソフトを活用して学習します。
- 学習カルテでつまずきを克服
確認テストを行い、個別学習カルテを作成します。そのカルテに基づいて、つまずき部分を繰り返し学習して克服していきます。
- 次へのステップ(足立区作成テキスト)を活用した学習
“ホップ・ステップ・ジャンプ”と難易度が3段階のテキストを活用し、個に応じた指導に役立てています。

サマースクール

各小学校では、夏休み中に少人数指導体制の補充教室などを実施し、学力向上をめざしています。

例えば、保護者の丸付けボランティアだけでなく、近隣中学校から生徒・教員が参加している学校もあり、補充教室を通して小中連携にも取り組んでいます。教わる小学生は、中学生とふれあうことで憧れや刺激を受け、意欲や目的意識をもつことができます。中学生にとっては、分かりやすく教えるための説明力や思いやりの心も育ち、気持ちの面での成長が見られます。また、中学生だけでなく、近隣の高校生・大学生や地域の方々が参加して、地域ぐるみのサマースクールを展開している学校もあります。

今年の夏休みも基礎・基本の定着をめざし各学校でサマースクールが行われます。

中学生も協力!!



▲辰沼小学校のサマースクールで谷中中学校の生徒が教えている様子





つけよう!体力!

優れた
取り組み
ご紹介!

足立区では、学力と体力の向上のためにさまざまな事業を行っています。なかには、民間教育事業者を活用した事業もありますが、取り組みの多くは学校が独自のアイデアや工夫を凝らしたものです。今回は、その中からほんの一部ではありますが、各校の優れた取り組みをご紹介します。

長なわチャレンジ

足立区では、子どもたちの体力向上をめざし、平成23年度から『足立区小学生長なわチャレンジ』を行っています。3分間に跳ぶ目標回数を学年別に設定し、それを達成した学級・学年には賞状を授与します。年々、参加校が増えて盛り上がりを見せています。子どもたちからは「先生がよく教えてくれて楽しい」という声も聞かれています。

今年度も、多くの学校が長なわチャレンジに取り組み、楽しみながら体力向上をめざしていきます。



▲平成24年度目標達成学級が最多の花畑西小学校

足立区 長なわチャレンジ **検索** 目標達成学級はこちら

花畑西小学校に聞きました!

★こんなよいことがあります★

調整力、持久力、瞬発力などが育ちます。
友達と記録に挑戦したり、練習したりする中で、
チームやクラスの連帯感が高まります。
続けることで、粘り強さや運動習慣が身に付きます。

★コツ★

みんなで声を掛け合いながらタイミングよく跳ぶこと
片足で跳ぶこと（スキップするように入ること）

モーニングラン



▲多いときは100人以上が参加!

(鹿浜中学校)

鹿浜中学校では、学校独自の『モーニングラン』を通して体力向上をめざしています。この取り組みは、「走りたい!」という生徒の声と、「運動の場所と機会を与えたい」という先生の想いから生まれました。

朝7時40分に生徒自ら準備運動を始め、ストップウォッチを持って12分間走ります。ほぼ毎日行われ、雨の日も体育館で走ります。100回以上走った生徒には学校から金メダルを授与し、意欲を高めながら取り組んでいます。

先生の声

早寝・早起きをするようになり、生活のリズムが整いました。

生徒の声

運動部に入っていない生徒にも日常的に体力づくりの場を与えられます。朝から体を動かすことで心の面でも安定し“知・徳・体”のバランスがとれます。

給食メニューコンクール&足立オールおいしい給食デー



《小学校》

【テーマ】

お誕生日に食べたいな！

～みんなが作った

お誕生日に食べたい給食で

お祝いしよう！～

大谷田小 ^{ながさわ} 永澤 ^{ののか} 希乃花さん

「おまめがいっぱいバターライスと
ハンバーグのお誕生日ケーキ」

平成24年度区長賞受賞作品

《中学校》

【テーマ】

区制80周年お祝い給食の品

～自由な発想で

区制80周年記念をお祝いしよう！～

花保中 ^{さとう} 佐藤 ^{まなみ} 愛美さん

「洋風ちらしとタラのムニエル」



今年度のテーマ
「いろいろな野菜のカラフル給食」
小・中学生が工夫を凝らして考えた献立
が学校給食になります。
今年度は「いろいろな野菜のカラフル給食」
をテーマに昨年に引き続き小・中学生から
メニューを大募集します。「足立オールおい
しい給食デー」（12月予定）として、受賞
作品を一齐給食としてみんなで食べます。
メニューの評価ポイントは栄養バランスや
いろどりなどです。夏休みに、親子でグル
ープでぜひ挑戦してみてください。

えだまめくんと こまつなちゃん の給食メニュー

<鶏と野菜のトマト煮> 「青井中学校」

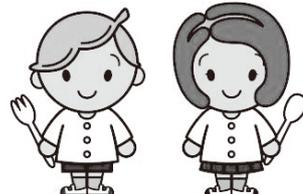
材料（大人4人分）

鶏もも肉	120g
ひよこ豆	20g
たまねぎ	中1個
にんじん	1/2本
ぶなしめじ	20g
ホールトマト	1缶
なす	1個
ピーマン	中1個
じゃがいも	中3個
サラダ油	少々
スープ	1カップ
A ケチャップ	大さじ3
赤ワイン	小さじ1
三温糖	少々
塩	少々
ウスターソース	小さじ2
粉チーズ	少々



作り方

- ①ひよこ豆は水に戻し、鶏がらやコンソメ・フイヨンなどでスープを作る。
- ②野菜・肉を切る
 - ・じゃがいも、にんじん→厚いちょう
 - ・たまねぎ、ピーマン→角切り
 - ・なす→半月切り
 - ・鶏もも肉→一口大
- ③鍋にサラダ油をひき、鶏もも肉を軽く焼き色がつくまで炒める。
- ④たまねぎ・にんじんを③に加え軽く炒めたら残りの野菜を全て加え、スープ・ホールトマトを加えて煮込む。
- ⑤野菜が柔らかくなったらA（調味料）をいれ、ひと煮立ちしたら出来上がり！



教育委員の活動

- 3月 区立小・中学校卒業式出席
- 4月 教育委員協議会、臨時校長会、東京都教育施策連絡会出席
- 5月 教育委員協議会
- 6月 足立区議会出席（教育委員長）

◆会議の傍聴
会議は傍聴することができます。希望される方はお問い合わせください。

◆動き
（平成25年3月～平成25年6月）
教育委員会には定例会4回及び臨時会2回の開催を通じて40件の議案が付議され、審議の結果2件の取り下げを除き38件が可決されました。
《主な議案》
* 足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の進達について
* 保育所入所不承諾処分に対する異議申立てに係る教育委員会の決定について

教育委員会の活動

●任期
平成25年4月1日～平成29年3月31日

●略歴
東京都大学人間科学部教授
日本保育学会副会長
全国保育士養成協議会関東ブロック会長
全国社会福祉協議会全国保育協議会専門委員
O M E P（世界幼児教育機構）日本委員会副会長

新教育委員を ご紹介いたします



おがわ きよみ
小川清美

足立区育英資金寄附金 ありがとうございます

第十一町会自治会連合会、青少年対策第十一地区委員会 様 / 中村 政信 様
植松 武夫 様 / (社)倫理研究所 家庭倫理の会 足立区 様 / 足立読売会 様
俵 澄江 様 / 匿名 1名

問合せ先

給食メニュー	学務課	おいしい給食担当	☎3880-5427
教育委員会の活動	教育政策課	庶務係	☎3880-5961
足立区育英資金寄附金	学務課	助成係	☎3880-5977

教育論議の ギャップと学力

教育の議論は大変に難しいものです。誰もが自分の学校体験などを踏まえた「教育論」を持っているからです。

また、問題の一部を「鋭く」切り取るマスコミ報道もあって、教育問題の正確な姿が見えにくい状況もあります。いじめや体罰事件の続発で、学校は社会から強く批判され、その管理責任を問われた教育委員会に至っては廃止の検討も始まっています。しかし、日本の学校は本当にそれほどひどいのでしょうか。

ベネッセと朝日新聞社の共同調査『学校教育に対する保護者の意識調査』（2012年調査）を見ますと、公立小・中学校に対する保護者満足度（とても満足+まあ満足）は、2004年73.1%、2008年77.9%、2012年80.7%と年々上昇しています。世間で言われる学校批判とのギャップをどう受け止めればよいのでしょうか。

こうしたギャップは学力論でも見られます。学力「低下」論争を経て、2008年改訂の学習指導要領は、総合的学習の大幅な時間削減、教科学習の拡充などを図り、マスコミは基礎・基本を重視する従来の方針に



小川正人
おがわ まさひと
教育委員長

戻ったと報じました。しかし、2008年の

教育課程を細かく見ると、教科学習では基礎・基本の定着の上にその活用の学習を充実させ、活用や探求の学習を総合的学習と関連づけて教科横断的な工夫で取り組ませ、意欲・関心、思考・判断力や問題解決力などの育成を図るとしています。折しも、知識偏重・一発勝負の象徴とされた入試センター試験の廃止論の報道もありました。ここにきてようやく大学も、主体的に問題を発見し解を見出していく学生の育成と能動的学習を重視し始め、義務教育から大学に至る全課程で、21世紀型学力育成に取り組む体制づくりが動き出したと言えます。

基礎・基本の定着は重要ですが、機械的な基礎・基本の繰り返し学習に留めず、子ども自らが直面する課題に取り組むために必要な基礎・基本に立ち返りながら、学習を螺旋的に発展させていける意欲や学習力を身につけさせていくことが重要だと考えます。

開かれた学校づくり協議会

ワクワクウェブ（東加平小学校）

東加平小学校開かれた学校づくり協議会主催の『ワクワクウェブ』は、平成14年から続く振り返り学習のための教室です。文教大学を中心に教員志望の学生が主体となって授業を行い、協議会委員や保護者が授業の補助や採点などを担当し、授業後には教員が指導方法を助言します。

「子どもの学力向上のために学校と地域と学生が少しだけ苦労する三方一両損で始めました」と吉田前会長は話します。しかし、いざ活動を始めてみると、



学生にとっては自らの勉強、学校にとっては子どもの学力向上、地域にとっては絆の強まりという「三方一両得」の効果が生まれました。

今年度の開室式での青木会長の「子どもたちの学習へのワクワクする気持ちが広がることをめざしたい」との言葉どおり、子どもたちの「ワクワク」が広がっていきます。

活動紹介
5

中学生「東京駅伝」大会男女総合第3位 出場大会連続入賞の快挙!

区の伝統は受け継がれます。の背中を追いかけることで、強い足立

選手たちは、先輩たちの活躍を見て、追いつけ追い越せと努力し成長しました。これからも、後輩たちが先輩たちの

昨年11月から、10回以上の合同練習や鋸南合宿を行いました。個々の実力を高めるために、コーチの先生方は練習場所を工夫しました。トラックでスピードをつけ、荒川河川敷で記録測定し、舎人公園でアップダウンの練習を行いました。12月の鋸南合宿では、厳しい練習と寝食をともにすることで、チームワークを高めました。

平成25年3月20日、第4回中学生「東京駅伝」大会で、足立区選手団は、男女総合で第3位という成績を収めました。



5月8日区長表敬訪問 区長コメント
「チームの力で勝ち取った結果に大きな勇気や希望をもらえました。」

Vol.9 すごいね! あだちの子どもたち

はまなす杯 (平成25年3月28日～30日)

第7回全国中学生空手道選抜大会 1年女子組み手 優勝



小林さんは、小学6年生の時の全国大会で3位になった実績を携えて、全国レベルの強豪である第四中学校空手部に入学しました。空手部や10年近く通っている空手教室の仲間と実力を磨き合いました。その努力が実り、平成25年3月、念願の全国大会優勝という輝かしい成績を収めました。

大会会場に到着するまで、小林さんはとても緊張していました。しかし、いざ試合になると「緊張は無くなった。自分の技をきちんと出すことを心掛け、目の前の相手を倒すことに集中できた」と振り返りました。また、顧問の高橋克彰先生は「今大会では延長戦が多かったが、持ち味の勝負強さを発揮できた」と語りました。

第四中学校空手部2年
小林直央 (大会時は1年生)

